

これならわかる! 「相続・贈与」完全入門

週刊

特大号

2009 10/24
特別定価740円

特別討論

資本主義の危機を克服する
伊藤雅俊vs野中郁次郎vs吉川洋

一人勝ち サイゼリヤ
超低価格を実現するコスト構造の秘

農水省のムダな農業用水用ダム

<http://dw.diamond.ne.jp/>

第97巻42号 / 毎週土曜日発行 / 平成21年10月24日発行 / 大正2年5月10日第3種郵便物

もめない 相続 贈与 賢い

こんな時どうなる?
争いが起きない
対処法を満載!

知らないと損!
不動産 生前贈与 保険
節税のノウハウ満載

あなたの
相続税はいくら?
チェックリスト、
試算表で
簡単に算出

今のうちに
先手を打つ
事業承継のススメ



エンディングノート活用策

遺言書では盛り込めない情報を

人生の棚卸しで円満相続

「エンディングノート」が人気を集めている。相続相談を行なう「相続手続支援センター」が敬老の日に無料配布したノートには二七〇〇冊もの注文が殺到。同センターが全国で開催する書き方セミナーなども毎回満員の状況という。

遺産分割以外でも「故人しか知らない」情報がわからないためトラブルになるケースは後を絶たない。たとえば「延命治療を打ち切る決断をした長男が他の遺族から非難された」とか、「大学時代の親友や遠縁の親戚など、本人と関係の深い人に死亡の連絡が行き届かず禍根を残した」などのケースがそれだ。どちらも遺言書には盛り込めない情報だが、遺族同士が争い、心情的なしこりを残した結果、相続の際にもめることも多いのだという。

遺

言では触れられないこのよ
うな情報を記すのがエンデ
ィングノートの基本だ。

たとえば、延命治療についての
考え方や、墓の管理を誰に任せた

いか、どんな葬式を希望するのかあるいは、自分は普段どんな人と付き合いがあり、万一のときに誰に連絡してほしいのか。親から受け継いだ思い出の品の処理や郷土の料理、自らのルーツ、幼少時の思い出などでもよい。

生前に閲覧できない遺言書と異なり「家族に見せたところ、祖父と孫がサツカーという共通の趣味がある」とわかり、コミュニケーションが深まった例もある（半田貢・相続手続支援センター代表）。

核家族化で子どもと別居する親が増えるなか、親の意思や暮らしぶり、人生の軌跡などを知らない子ども世代も多い。ノートを通じて生前からこうした情報を共有すれば、後々の軋轢も避けられよう。ちなみに財産目録とその分割方法などの記入欄を設けているノートもあるが、エンディングノートだけでは法的な拘束力はないのでご注意ください。あくまでも情報整理のために活用し、必要があれば遺言を書くよう気をつけたい。

エンディングノートの書き方

●思い出

自分の幼少時、青年時の思い出／夫・妻と出会ったきっかけ／仕事でのうれしかったこと、悲しかったこと／子どもが誕生したときの気持ち
→自分の人生の軌跡を子どもは意外と知らない。生前にコミュニケーションが取れていればいざというときにももめない

●友人関係相関図

学校の同級生、会社の同僚、趣味の仲間などに分類、連絡先を記載
→万一の際に大事な人に連絡が漏れないように

●財産価値のない“財産”の処置について

→母の着物などの思い出の品の処理、墓の管理を誰が行なうか。子どもに伝えたい郷土料理や郷土の習わしなど。現代の“家訓”としての活用も可

●介護の方針、延命治療や葬儀・墓の希望

→自分が意思表示をしないと遺族間での対立を招く。家紋や地域ならではの葬儀の慣習なども記入する

●財産明細

→不動産、預金、生命保険など以外に、借入金も。連帯保証人などは書類で記録が残らないので忘れずに

さまざまなエンディングノートが市販されている。自分に合った1冊を見つけよう。右は相続手続支援センターの発行するエンディングノート。自分の半生を記入する欄が豊富だ

